

平成29年度
勝山市政策基本目標管理
外部評価報告書

平成30年12月
勝山市総合行政審議会

平成29年度 政策基本目標管理外部評価結果について

1 評価対象

評価対象は、第5次勝山市総合計画（改定版）に基づく、重点項目と施策指標からなる政策の小項目（施策）を基本に、85項目としている。また、PDCAサイクルにより進捗管理を行っている。

2 評価基準

(1) 内部評価

すべての項目について事業進捗に係る客観的評価を行った後、目標を達成したか否かについて下記の評価基準を使用し、客観的に判断した。

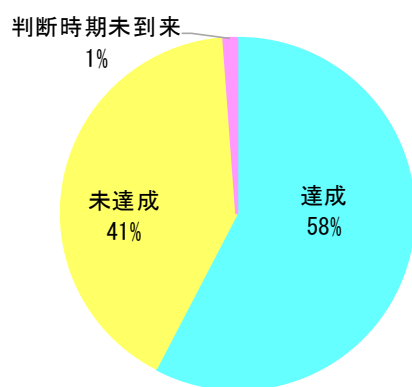
①小項目単位の評価結果（85項目）

- 「達成」 目標を全て達成した場合
- 「未達成」 目標の全てもしくは一部が達成できなかった場合
- 「判断時期未到来」 目標が後年度に設定されており、現時点で判断できない場合

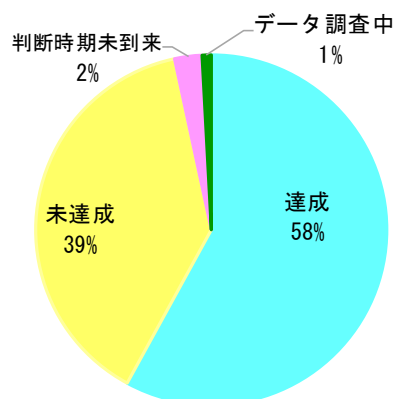
②施策指標（数値目標）の評価結果（119項目）

目標値に対する実績結果により「達成」、「未達成」ほか

1 小項目単位の評価結果



2 施策指標（数値目標）評価結果



(2) 外部評価

外部評価は、内部評価において評価対象とした政策について、市長の諮問を受けた勝山市総合行政審議会が客観的に評価を行ったものである。

評価にあたっては、市長から提示された内部評価結果を参考に担当部課長及び事務局からの説明を受け、市民目線による評価を行なった。評価結果のうち特に、「未達成」項目を中心に審議し、意見をいただいた。委員から提出された政策に対する意見件数は85項目中53項目にのぼり、これらを外部評価書の意見欄に記載し、今後の政策推進の参考とする。

内部評価結果に対する評価	項目数
内部評価を妥当と認める	85
上記のうち意見あり	53
内部評価を不相当とする	0

政策進捗に対する評価	項目数
達成	49
上記のうち意見あり	17
未達成	35
上記のうち意見あり	35
判断時期未到来	1
上記のうち意見あり	1

政策の小項目別外部評価一覧表

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり			
1. 市民が主体となったまちづくり			
111	1. 市民の市政への参画推進	達成	・道路の維持補修のための原材料の支給について、継続して実施していただきたい。
112	2. 市民活動の推進	達成	評価について妥当と認める。
113	3. 広報の充実	未達成	・近年、多発する災害に備え、HPの情報についてはリアルタイムでの提供をお願いしたい。 ・新市HPへの移行には期待しており、今後、どのサイトのアクセス数が多いのかをしっかりと分析し、庁内にフィードバックしていただきたい。
114	4. 情報公開の推進、個人情報の保護	達成	評価について妥当と認める。
2. 効率的、効果的な行財政の運営			
121	1. 政策基本目標管理および行財政改革の推進	達成	評価について妥当と認める。
122	2. 公平・適正な税制運営等による歳入の確保	未達成	・ふるさと納税は重要な財源であり、返礼品の内容については、人気等を鑑みて定期的に見直しを図っていただきたい。
123	3. 効率的、効果的で持続可能な財政運営	達成	・総合評価落札方式における評価項目については、時代に対応しながら、市政により貢献する業者が選定されるよう随時、見直しを図っていただきたい。
124	4. 公共施設の効率的運用	達成	・施設の統廃合を含めた再配置を検討していくことは、喫緊の課題となっており、内容や最終目標、スケジュールを迅速かつ具体的に示しながら進めていただきたい。
125	5. 行政組織の効率的運用	未達成	・SNSの普及等により各ハラスメントに係る問題は組織全体に大きなダメージを及ぼすことも多くなっていることから、その問題性をしっかり認識する研修の機会を十分に設けていただきたい。
126	6. 広域行政の推進	達成	評価について妥当と認める。
3. 多様な交流活動の推進			
131	1. 恐竜を活かしたまちづくり（恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの推進）	達成	・他市で伝統の保存が行われているように、東山や五所ヶ原といった地域の焼畑のような伝統的な活動については、保全に努めていただきたい。
132	2. 国際交流の推進	達成	評価について妥当と認める。
133	3. 都市間交流（国内）の推進	達成	評価について妥当と認める。
134	4. ふれあい市民との交流	未達成	・アプリやHPの充実、写真の多用など、若い世代が入り込みやすい媒体を活用したPRを行っていただきたい。 ・都市部ではリゾートバイトが流行しており、そういった若者との接点を作り、Iターンにつなげていただきたい。
135	5. U・Iターンの推進	未達成	・仕事上の理由ではなく、情熱をもって移住してくれる人を獲得するため、関東や関西エリアにジオパークとしての魅力も含めたPRの強化を行っていただきたい。 ・都会の人が田舎暮らしを満喫できるような、家庭菜園のある住宅を希望する場合、宅地に付随している土地の地目が農地の場合にも、取得ができないか対策を検討していただきたい。
136	6. 官学連携事業の推進	達成	評価について妥当と認める。
137	7. シティプロモーションの推進	未達成	・ジオパークロゴの活用やふるさと動画の製作はシティプロモーションに向けた有効なツールであり、有名YouTuberによる動画配信やinstagramの活用など、発信対策を充実させていただきたい。

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
4. 人権・男女共同参画社会の実現			
141	1. 人権尊重の社会づくりの推進	達成	評価について妥当と認める。
142	2. 男女がともに思いやり責任を担い合う社会の実現	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・無理強いして女性の登用を推進するのではなく、子どものころから時間をかけて男女共同参画を学ぶことのできる環境を整備いただきたい。 ・若い世代の方々は男女共同参画の意識が高く、特に年配の方を対象とした研修等を開催し、男女共同参画を訴えていただきたい。
5. 各地区、各集落の地域力向上の実現			
151	1. 市民が主体となった地域力の向上	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野やSNS活用の分野など、若者が関心を持ちやすいところから、若者の市政参画を推進していただきたい。 ・今後、新たに整備する施設については、真に市民に望まれるものであるとともに、市民自身が積極的に参画しようというやる気が醸成されるものとしていただきたい。

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
2. 誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり			
1. 健康のまち勝山の実現			
211	1. 健康づくり活動の推進	達成	評価について妥当と認める。
212	2. 保健サービスの充実	未達成	・喫煙対策について、単に健康への影響を示すだけでなく、実際にやめた方の実例を示すなど意味のある講座の実施をお願いしたい。
2. 安心して暮らせる長寿社会の実現			
221	1. 高齢者の生きがいと健康づくりの支援	未達成	・第6次勝山市総合計画の策定時には、法律に左右されて数値が変動する施策指標の設定は行わないでいただきたい。
222	2. 高齢者介護体制の充実	達成	評価について妥当と認める。
223	3. 高齢者総合相談・支援の充実	達成	評価について妥当と認める。
3. 福祉のまちづくりの実現			
231	1. 障がい者福祉の充実	達成	評価について妥当と認める。
232	2. 生活困窮者への支援	未達成	・施策指標について、可能であれば全対象者のうち対応した人が何人いるといった分かりやすい数値で効果を示していただきたい。
233	3. 地域福祉施策の充実	達成	・避難行動要支援者の情報については、個人情報であるものの、ごく一部の方のみが情報を持っているのではなく、有事に効果的な活用ができるよう対策を検討いただきたい。
4. 子育て支援日本一の実現			
241	1. 結婚支援策の充実	未達成	・工夫を凝らした婚活イベントを実施していることは評価できることから、それにあわせて「結婚すること」のイメージアップにつながる取組みを行っていただきたい。
242	2. 出産支援体制の充実	未達成	・勝山市は、出産支援・子育て支援の両面がとても充実しているものの、出産支援策のPRが不足しており、新HPへの移行にあわせ、周知の強化・徹底を図っていただきたい。
243	3. 子育て支援策の充実	達成	評価について妥当と認める。
5. 安定した医療、保険制度の実現			
251	1. 地域医療体制等の充実	達成	評価について妥当と認める。
252	2. 安定した国民健康保険制度の運営	未達成	・市の特定健康診査は、時間もあまりかからず、安価でスムーズに行われていることから、受診率の向上に向けたPRを一層強化していただきたい。
6. 安全安心に暮らせるまちの実現			
261	1. 消防体制の充実	未達成	・自衛消防隊については、日中勤めに出ている人が多いと思うが、その際に火災が起きた場合の対応を十分検討いただきたい。
262	2. 救急体制の充実	達成	評価について妥当と認める。
263	3. 総合的な防災体制の確立	未達成	・自主防災組織については、自衛消防隊など他の防災組織との役割分担を明確化し、区長会等を通じて、その必要性を強く訴えていただきたい。 ・避難行動要支援者の登録・更新は単なるルーティンとするのではなく「誰が誰を支援する」という一歩踏み込んだ活用策を検討いただきたい。 ・総合防災訓練については、さらに一般市民を巻き込んだ形で開催いただきたい。
264	4. 交通安全対策の推進	達成	評価について妥当と認める。
265	5. 防犯の推進	達成	評価について妥当と認める。
266	6. 消費者保護の推進	達成	評価について妥当と認める。

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
3. にぎわいと産業の振興、連携による持続可能なまちづくり			
1. 農業の振興			
311	1. 集落を基盤に考える地域農業の振興	達成	・都会の人が田舎暮らしを満喫できるよう、家庭菜園のある住宅を希望する場合、宅地に付随している土地の地目が農地の場合にも、取得ができないか対策を検討していただきたい。
312	2. 循環型農業を基軸とした勝山型農業の推進	未達成	・道の駅は訪れる人の目的が異なることから、求める商品やサービスについて趣向を凝らし、どのように引きつけるのかをしっかりと考え、対策を講じていただきたい。
313	3. 経営効率化に資する生産基盤・農業用施設の適正な機能の確保	達成	評価について妥当と認める。
314	4. 鳥獣害防止対策の推進	達成	・捕獲したイノシン等の肉を特産品として加工するなど活用策を検討していただきたい。
2. 林業の振興			
321	1. 継続的な森林管理の推進	達成	評価について妥当と認める。
322	2. 多様な活動主体による森林活用	未達成	・東山いこいの森について、恐竜も絡めるなど人を呼び寄せる手法を研究・実施しながら、活用していただきたい。
3. 内水面漁業の振興			
331	1. 水産資源の保護・活用	達成	・道の駅の親水空間は、誰がいつ来ても楽しむことができる形で運営していただきたい。
4. 商工業の振興			
341	1. 活力ある商業経営の支援	未達成	・旅カフェの取組みは一定の評価ができることから、この取組みを発展させ、駅周辺において観光客向けに目玉となるイベントを実施していただきたい。
342	2. 地元企業への支援	達成	評価について妥当と認める。
343	3. 起業家の育成・支援	未達成	・起業家の育成に向け、勝山市として施設改修に係る費用の支援やインキュベート施設の提供を実施していることは評価できるが、市内にはネット販売を行う会社が多いことから、そういった事業に対する補助や税金の減免を行い、新たな起業家の育成・支援策に取り組んでいただきたい。
344	4. ソーシャルビジネスへの展開支援	達成	評価について妥当と認める。
345	5. 企業立地・誘致の推進	達成	評価について妥当と認める。
5. 観光の産業化			
351	1. 観光資源の活用による経済の活性化	未達成	・市内への玄関口である駅周辺が閑散として寂しいことから、周辺でのお土産販売など打開策を検討していただきたい。
352	2. 環境整備による周遊性・滞在性の促進	未達成	・温泉センター水芭蕉が賑わいを取り戻すよう、今後も、それに対応した計画的な整備を実施していただきたい。
353	3. 観光営業の強化による誘客の促進	達成	評価について妥当と認める。
354	4. インバウンド観光の推進	未達成	・ロンリープラネットのような外国の旅行ガイドブックへの掲載はインバウンドに効果があり、取り組んでいただきたい。 ・年配の方がゆったり滞在できるようなツアーの造成など、ターゲットを明確にした施設整備やプロモーション活動を実施していただきたい。
355	5. 広域観光の展開による認知度向上	達成	評価について妥当と認める。

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
4. 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり			
1. 効率的で人にやさしい都市基盤の実現			
411	1. まとまりのある都市構成と土地利用の推進	達成	・建物が放置されている箇所は、非常に景観が悪く、なんらかの方策を講じることができないか検討いただきたい。
412	2. 道路網の整備	達成	・北郷町から永平寺町に向かう道路の街路樹が道に覆いかぶさっているが、早急に対策を講じていただきたい。
413	3. 公園緑地の整備	未達成	・県立恐竜博物館の駐車場を有料にし、その分を新たな魅力に投資すれば、より満足してもらえる施設になり、市民も喜ぶのではないかな。
414	4. 河川の整備	達成	評価について妥当と認める。
415	5. 中心市街地の整備	未達成	・市内の道が非常に暗く感じることから、街路灯の増設やLED化等の対策を、より一層講じていただきたい。
2. 人にやさしい交通体系の確立			
421	1. 利用しやすいバス体系の整備と利用促進	達成	評価について妥当と認める。
422	2. 乗りやすい鉄道の整備と利用促進	未達成	・勝山駅近辺の賑やかさと観光客のおもてなしに向けた目玉となるイベントの実施を検討いただきたい。 ・田舎を走る私鉄はブームになっており、のどかな風景もあわせ、観光資源として活かしていただきたい。
3. 環境や景観に配慮したまちの実現			
431	1. 循環型社会の構築	未達成	・携帯電話、スマートフォンの回収については、東京オリンピックの開催により意識も高まっていることから一層の周知を徹底いただきたい。 ・リサイクル活動について、例えば親子が楽しく参加できるようなリサイクルイベントを企画し「クリーンな勝山」のイメージにつなげていただきたい。 ・敦賀のイルミネーションのように、市民から回収した油による電力を利用したイベントを企画することにより、市民の環境意識の向上にあわせ事業のPRにも大きな効果を発揮するのではないかな。
432	2. 低炭素社会の構築	達成	評価について妥当と認める。
433	3. 環境保全・保護、美化活動の推進	未達成	・勝山市が2006年のフォーブスにおいて世界で最も美しい都市第9位に選ばれたことについて、今の子ども達にPRし、環境教育に十分役立てていただきたい。
434	4. 景観形成の推進	未達成	・本町通りの再活性化に向け、空き店舗を活用して起業する人の支援を行う事業の実施等を、大学と組んで検討いただきたい。
4. 快適で雪に強い定住環境の実現			
441	1. 質の高い住環境の整備	未達成	・市営住宅の入居について、前年度の所得が条件となっているが、急激に収入が減った方への救済措置を講じていただきたい。
442	2. 勝山市総合克雪・利雪・親雪計画の推進	達成	・勝山市の除雪体制は非常に評価でき、今後も引き続き、臨機応変な対応に努めていただきたい。
443	3. 水の供給システムの整備	達成	・今年の冬は水不足による断水が発生したが、新たな水源確保など水の供給対策について、一層強化していただきたい。
444	4. 水の処理システムの整備	未達成	・今後も継続して、汚水処理施設の整備促進に努め、全対象区域の整備を図っていただきたい。

政策コード	第5次勝山市総合計画基本計画 政策の小項目	内部評価	外部評価（総合行政審議会意見）
5. 豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり			
1. 望ましい教育の実現			
511	1. 教育環境の整備・充実	判断時期 未到来	・小中学校の再編は、重要な問題であるが市民の意見を踏まえつつ、財政面・効率面も吟味して積極的に取り組んでいただきたい。
512	2. 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実	達成	・教職員が疲弊している状況を鑑みて、トップダウン的な手法も踏まえ、事業のビルドだけでなくスクラップに取り組んでいただきたい。 ・子ども達にしわ寄せがいかない形で、勝山市がモデル的な対策を打ち出していきたい。
513	3. 「生きる力」を育む市民活動の展開	未達成	・小学生と中学生が一緒になって行事に取り組む方策を検討いただきたい。 ・子どもの安全安心のための見守り活動はよい取り組みだが、組織体制が不透明であり、勝山っ子応援ネットワーク等をベースとした組織作りに取り組んでいただきたい。
2. 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現			
521	1. 国史跡白山平泉寺旧境内を中核にすえたまちづくり	達成	・バスツアーをはじめ、白山平泉寺は活気づいており、この流れを継続していただきたい。
522	2. 歴史遺産の保護・活用の推進	達成	・旧木下家住宅については、整備して終了するのでなく、見学者数の増加に向けた対策を講じていただきたい。
3. いきいきと学ぶ生涯学習の推進			
531	1. 学習機会と施設の充実	未達成	・公民館学級の内容自体は、よく検討して実施されており、参加者の増加に向け、若い世代や親子などターゲットを絞ってPRしていただきたい。
532	2. 生涯学習の推進に向けた人材の育成	未達成	・生涯学習人材バンクを大いに活かすため、地域のサロン活動や学校の保護者イベントなど、情報発信の対象を拡大いただきたい。 ・地区の問題を解決に導くような現実的な地域のニーズに対応する人材を探すとよいのではないかと。
533	3. 自然体験学習・ジオパーク学習の推進	達成	評価について妥当と認める。
534	4. 図書館機能の充実	未達成	・利用者の増加に向け、学生の学習スペースの増設を検討いただきたい。 ・学校図書支援事業は、教職員の業務の一助となっており、今後も継続的に実施していただきたい。
4. 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興			
541	1. 伝統文化の保存継承	達成	評価について妥当と認める。
542	2. 文化芸術活動の充実	達成	・芸能発表を固定化せず、以前に実施したキッズダンスショーのように子どもを巻き込んだ発表を取り入れ、来場者の増加に努めていただきたい。
5. いきいきと輝くスポーツの振興			
551	1. 競技スポーツと生涯スポーツの推進	未達成	・イベントにおいて、おもてなしの充実は不可欠であり、ふるまいだけでなく、当日の状況をSNSによりリアルタイムで配信するなど、みんなが楽しむことのできる環境づくりを図っていただきたい。 ・企画が固定化しているきらいがあり、若い人の知恵を取り入れ、目新しいものをプロデュースしていただきたい。
552	2. 体育施設の整備・充実	達成	評価について妥当と認める。
553	3. 平成30年国民体育大会の開催	達成	評価について妥当と認める。

冊

一

録

政策の大項目	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり		評価基準										総合行政 審議会 外部評価				
	政策の中項目	1. 市民が主体となったまちづくり	内部評価					今後の方針						内部評価			
			項目評価	平成29年度の取組結果													
政策の小項目 (施策)	未来創造課	1. 市長と子どもでも語る会の充実(若者世代との対話促進・様々な女性グループとの対話推進) ・“市長と若手のまちづくり関係者との語る会”を実施(12/22, 12人) ・市長と高校生(8/17: 勝山高校 9/4: 奥越明成高校)の語る会実施 ・市長と市内3中学生の語る会実施(10/4)	達成														道路の維持補修のため の原材料の 支給につい て、継続し て実施して いただきた い。
			達成														
	達成																
総務課	3. 地区からの要望事項の整理と計画的対応 ・要望件数303件、実施事業費243,822千円 各地区の要望事項受理(6月) 担当部課による現場確認、協議等 各地区市長と語る会(9/29~11/22)で進捗状況を報告	達成															
		達成															
		達成															
建設課	4. 公共施設の維持管理に関する市民の参加促進(道路維持補修(原材料支給)の推進・河川美化活動補助金の拡充・公園・道路等清掃活動への支援継続) ・道路舗装補修材や生コン・砕石を支給(14地区、団体) ・河川美化活動補助金を支給(30地区、2中学校) ・公園等清掃助成金を支給(23地区)	達成															
		達成															
		達成															

1. 市民の市政への参画推進

政策の大項目	評価基準				総合行政 審議会 外部評価							
	内部評価		外部評価									
	項目評価	今後の方針	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	内部評価								
1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり												
1. 市民が主体となったまちづくり												
政策の小項目 (施策)	平成29年度の取組結果											
2. 市民活動の推進	総務課	1. ボランティア活動に関するシーズ(したい人)とニーズ(必要な人)をマッチングする仕組みづくりの検討 ・勝山市災害ボランティアセンター連絡会が研修を実施 ガイドライン研修(6/6)、災害ボランティアセンター設置運営訓練(6/25)、災害ボランティアコーディネーター研修会(11/3)	達成	・ガイドライン研修は、ボランティアセンター運営を中心とした座学と県防災士による講演とし、災害時のボランティア受援、ボランティア支援には区長方の協力が必要となることにポイントを絞った研修を実施する。 ・引き続き市民活動センター運営業務を委託し市民活動の支援	評価について 妥当と認める。							
	総務課	2. 「勝山市市民活動ネットワーク」の活動支援 H29年度入居団体数:33団体(H28年度35団体) 市民活動センター運営業務を委託	達成									
	総務課	3. ジオパーク拠点施設、ジオサイトの設定 ・ジオパークの建設設計に伴い、ジオパーク拠点施設の機能を併設すべく庁内関係課と打合わせを実施(4回) ・ジオサイトの考え方が、H28年度中に世界基準へと見直されたことにより、「ジオサイト」「文化歴史サイト」「生態系サイト」の分類に着手	達成									
	総務課	4. 「勝山市エココミュニケーション協議会」と協働した市民提案、市民審査型助成事業の継続 ・わがまち魅力発散事業をスタートさせ、市民によるまちづくり活動を推進(16団体(ジオソールズM1件、ジオサイト保護・保全事業10件、ジオパーク教育普及3件、ジオパークチャレンジ事業2件)より事業提案) ・審査会(5/14)、報告会(3/24~3/31)を実施 ※報告会は今年度よりまちづくりイベントの1つとしてパネル展示によって1週間の掲示を行った(以前までは1日だけの報告会形式) ・ジオパークの3要素「保護・保全」「教育・研究」「地域振興(ソールズM)」に関する取組みに対して助成を行うことで、「何のために行うのか」「行うことで地域をどうしたいのか」を意識するようになり、目的意識を持った活動となってきた。	達成	・引き続き、わがまち魅力発散事業を実施し、ジオパークを意識した持続可能なまちづくり活動に對して助成を行っていく。 ・ガイド養成講座の内容をより実践的なものとし、ガイドの人材育成を行う。								
	総務課	5. ジオパークガイドの養成と活用 ・第11回ふるさと検定の実施(3/5、受験者85人、54人合格) ・新たに「ガイド養成講座」を6回シリーズで実施(6人受講)	達成									
	総務課	6. エココミュニケーション文化財の検討 ・エココミュニケーションにより発掘した遺産をエココミュニケーション文化財と位置付け、データベース化した。	達成									
	総務課	7. エココミュニケーションにより再発見した遺産のデータベース化 ・H28年度においてわがまちガイドシステムによりデータベース化を完了	達成									
	総務課	施策指標	改定時値	目標値		実績	H28	H29	H30	H31	H32	数値評価
	ジオパークガイドの出動要請件数	H27 161件	H32 240件	目標 200件		実績 240件	200件	210件	220件	230件	240件	達成
	ジオパークガイド養成講座の受講者人数(平成28年度からの累計)	—	H32 40人	目標 8人		実績 16人	H28 8人	H29 16人	H30 24人	H31 32人	H32 40人	達成

政策の大項目		評価基準										総合行政 審議会 外部評価											
政策の中項目		内部評価					今後の方針						内部評価										
政策の小項目 (施策)		平成29年度の取組結果																					
1.	すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり											①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来											
1.	市民が主体となったまちづくり											①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来											
3.	広報の充実	<p>1. 広報紙、お知らせ版、公式ホームページ、SNS等による正確・迅速な情報提供の充実</p> <p>2. 新たな技術やツールを活用した行政情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 読みやすくするため写真主体のレイアウトを継続 移住者を紹介するコラムを始め、特集では、移住した方の視点から見た勝山市の魅力を紹介し、市民に誇りを持ってもらえる内容とした Facebook、Twitterのほか、新たにInstagramの公式アカウントをスタートさせ、それぞれを使い分けて情報発信できた <p>3. 勝山市公式ホームページのリニューアル(ユニバーサルデザイン、多言語化等)</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年12月の公式ホームページリニューアルに向けアクセシビリティへの対応、デザイン・サイト構成を決定 										達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	未達成 (数値目標)	近年、多発する災害に備え、HPの情報についてはリアルタイムでの提供をお願いしたい。 新市HPへの移行には期待しており、今後、どのサイトのアクセス数が多いのかをしっかりと分析し、庁内にフィードバックしていただきたい。
4.	情報公開の推進、個人情報保護の徹底	<p>1. 情報公開制度の適正かつ円滑な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 全請求に対し法令、条例等に基づく事務マニュアルにより滞りなく処理を実施(請求件数 市内32件、市外8件) ※審査会開催なし <p>2. 個人情報と特定個人情報の組織的安全管理措置の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求件数0件 勝山市特定個人情報等の安全管理に関する基本方針、勝山市特定個人情報取扱要領を策定し、安全管理の徹底を図った <p>3. マイナンバーカードの多目的利用(住民票等のコンビニ交付など)の検討・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード多目的利用庁内ワーキングを開催(9/4) 										達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	評価について妥当と認める。

政策の大項目		評価基準										総合行政 審議会 外部評価											
政策の中項目		内部評価					今後の方針						内部評価										
政策の小項目 (施策)		平成29年度の取組結果																					
1.	すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり											①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来											
1.	市民が主体となったまちづくり											①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来											
4.	情報公開の推進、個人情報保護の徹底	<p>1. 情報公開制度の適正かつ円滑な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 全請求に対し法令、条例等に基づく事務マニュアルにより滞りなく処理を実施(請求件数 市内32件、市外8件) ※審査会開催なし <p>2. 個人情報と特定個人情報の組織的安全管理措置の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求件数0件 勝山市特定個人情報等の安全管理に関する基本方針、勝山市特定個人情報取扱要領を策定し、安全管理の徹底を図った <p>3. マイナンバーカードの多目的利用(住民票等のコンビニ交付など)の検討・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード多目的利用庁内ワーキングを開催(9/4) 										達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	評価について妥当と認める。

政策の大項目 政策の中項目 政策の小項目 (施策)	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり										評価基準				総合行政 審議会 外部評価																																																													
	2. 効率的、効果的な行財政の運営										①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来																																																																	
	内部評価					今後の方針					内部評価																																																																	
平成29年度の取組結果										項目評価																																																																		
1. 政策基本目標管理および行財政改革の推進	1. PDCAサイクルによる政策基本目標管理の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度のCheckとH29年度のPlanを確認・議論するために4・5月に庁内政策ヒアリングを実施(全50項目) ・H28年度のCheck・Action、H29年度のPlanを確認・議論するために10・11月に庁内政策ヒアリングを実施(全34項目) 										達成										達成	政策ヒアリングを市長の政策判断を仰ぐ場として有効に実施することができた。現行形式での実施が一定期間続いたことから、H30政策ヒアリングについては、市長と方式を再度検討して、実施することとする。																																																						
	2. 勝山市総合行政審議会による政策基本目標管理の外部評価実施 <ul style="list-style-type: none"> ・政策基本目標の管理を市長から総合行政審議会に諮問(9/28) ・総合行政審議会3回の審議の後、内部評価及び評価項目に対し意見を付して答申(12/15) 										達成										達成	・H30.3から総合行政審議会の委員が交代(一部)となることから、運営方法をきちんとお伝えし、スムーズな審議に移行できるよう、体制を整える。 そのなかで今後、総合行政審議会の外部評価の方法や審議のあり方をさらに検討し、外部評価の意義をより明確なものとしていく。																																																						
	3. 第5次勝山市総合計画(改定版)を基本とした第2次勝山市行財政改革実施計画の改定と進捗管理 <ul style="list-style-type: none"> ・第2次行財政改革実施計画について、計画期間の半期を経過したことから、市の現況にあわせた見直しを行うこととしたため、H29については進捗管理を実施せず。 										—										—																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策指標</th> <th>改定時値</th> <th>目標値</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>数値評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">行財政改革実施計画における実施項目達成率</td> <td>H27</td> <td>73%</td> <td>H32</td> <td>—</td> <td>75%</td> <td>78%</td> <td>79%</td> <td>80%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>80%</td> <td>73%</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										施策指標		改定時値	目標値	H28	H29	H30	H31	H32	数値評価	行財政改革実施計画における実施項目達成率	H27	73%	H32	—	75%	78%	79%	80%				80%	73%	—									目標										実績																						
施策指標		改定時値	目標値	H28	H29	H30	H31	H32	数値評価																																																																			
行財政改革実施計画における実施項目達成率	H27	73%	H32	—	75%	78%	79%	80%																																																																				
			80%	73%	—																																																																							
				目標																																																																								
				実績																																																																								

政策の大項目 政策の中項目 政策の小項目 (施策)	評価基準				総合行政 審議会 外部評価
	内部評価		外部評価		
	項目評価	今後の方針	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	内部評価	
1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり	平成29年度の取組結果	達成	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来		
2. 効率的、効果的な行財政の運営	1. クラウドファンディングをはじめとした新たな財源確保方策の活用 ・君原健二ロードの創設にかかるガバメントクラウドファンディングの実施 (目標金額2,000,000円、寄附件数77件、1,211,201円) ・映画「ローカル線ガールズ」応援プロジェクトにかかるガバメントクラウドファンディングの実施 (目標金額6,000,000円、寄附件数67件、6,158,000円)	達成	・年度当初において、総務省から返礼品及び返礼品に対する指導があり、これに対応して魅力ある返礼品を提供すべく、返礼品区分の細分化や返礼品数を充実させたが、少額寄附金、寄附件数の増加に伴い、事務の煩雑化が顕在化した。 ・更に寄附金額を増やすため、さらに魅力あふれる新たな返礼品の開発を行う H30年度実施予定 ・総務大臣通知等への適切な対応 ・ポータルサイトの増設による更なるふるさと納税PR ・ゆめおれ勝山イルミネーションにかかるガバメントクラウドファンディングの実施 ・産婦人科医療の応援にかかるガバメントクラウドファンディングの実施	未達成 (数値目標)	ふるさと納税は重要な財源であり、返礼品の内容については、人氣等を鑑みて定期的に直しを見直していただきたい。
2. 公平・適正な税制運営等による歳入の確保	2. ホームページ等による全国に向けたふるさと納税のPRの強化 ・寄付金額について、5,000円刻みだったものを1,000円刻みに変更し、寄附者への配慮拡大 ・高額納税者対象に、挨拶回りを実施 ・寄附総額21,621,000円 寄附件数506件	達成	達成	未達成 (数値目標)	
ふるさと創生移住課	3. 広報紙等による市民への市税に関する情報提供の拡充 ・1月号(確定申告)、1月お知らせ版(軽自動車税にかかる廃車・名義変更の手続き)、3月お知らせ版(固定資産税の縦覧・閲覧)	達成	達成	未達成	
	4. 航空写真等による家屋台帳、土地台帳、公図等の整備 【目的】 固定資産税の課税客体を正確に把握・管理し、固定資産税(土地及び家屋)の課税業務を公平かつ適正に行う事を目的に、H29～31の3ヶ年で航空写真を撮影し、土地及び家屋の現況を把握し、現在保有する地番図及び家屋図を更新・整備すること。 【H29実施状況】 業者選定及び航空写真を撮影し、市内全域の航空写真の撮影が終了	達成	達成	未達成	
税務・収納課	施策指標 改定時値 目標値 H27 H32 — 5件	H28 1件 1件	H30 H31 H32 3件 4件 5件	数値評価 未達成	
	施策指標 改定時値 目標値 H27 H32 14,992千円 50,000千円	H28 18,500千円 19,638千円	H30 H31 H32 34,000千円 42,000千円 50,000千円	数値評価 未達成	
	施策指標 改定時値 目標値 H27 H32 98.9% 99.1%	H28 98.9% 99.0%	H30 H31 H32 99.0% 99.1% 99.1%	数値評価 達成	

政策の大項目 政策の中項目 政策の小項目 (施策)	内部評価		評価基準		総合行政 審議会 外部評価		
	平成29年度の取組結果		項目評価	今後の方針			
	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり	2. 効率的、効果的な行財政の運営	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	内部評価			
3. 効率的、効果的で持続可能な財政運営	財政課	1. 中期財政見通しに基づく効率的・効果的な財政運営の推進	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度決算状況を加味しH33年度までの中期財政見通しの策定、H31年度当初予算編成での活用 	達成	総合評価落札方式における評価項目については、時代に対応しながら、市政により貢献する業者が選定されるよう随時、見直しを図っていただきたい。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度決算見込みから平成32年度までの主要事業予定調査を行い、中期財政見通しを作成 ・ホームページで市民に公表 ・決算での中期財政見通しと、予算での財政調整基金残高とでは乖離が大きくなるため、決算ベースと予算ベースでの2つの資料を作成 ・中期財政見通しを考慮しH30年度当初予算編成を実施 					
	総務課	2. 入札制度改善の継続的な実施	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の制度改正とあわせ勝山市独自の取組を織り交ぜながら、適宜対応することができた ・入札制度改善委員会を開催、主任技術者の手持ち工事数や工事費内訳書の注意点等について検討し、改善した 			<ul style="list-style-type: none"> ・必要な制度改正を行うため入札制度改善委員会の開催
		3. 総合評価落札方式の推進	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の制度改正とあわせ勝山市独自の取組を織り交ぜながら、適宜対応することができた ・総合評価落札方式の対象金額1,500万円以上を継続設定（発注件数 土木6件、建築5件、電気7件、法面1件 合計19件） 			<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式対象工事費、評価項目について改善の検討
		4. 電子入札の導入検討	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の導入状況等を調査し、競争入札参加資格審査委員会で費用対効果等を検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の福井県電子自治体推進協議会に参加、電子入札に関する情報等を入力し導入の検討
5. 公共施設用地地代の均衡化	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・契約更新時等に公共施設用地地代の税の3倍方式を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地代調査委員会の開催、税の3倍方式への切り替えの進行管理 				

政策の大項目		1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり		評価基準		総務課	総合行政 審議会 外部評価																																															
政策の中項目		2. 効率的、効果的な行財政の運営		①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来																																																		
政策の小項目 (施策)		平成29年度の取組結果		内部評価																																																		
4. 公共施設の効率的運用	総務課	1. 施設の機能・役割の見直しによる、統廃合を含めた施設の再配置の検討 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画で作成した施設カルテに、固定資産台帳の情報等を取り込み施設カルテの充実を図った 公共施設個別施設計画(案)を作成し、公共施設等総合管理計画検討委員会を開催して検討を行った 	2. 公共施設等の保全計画に基づく修繕の実施 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の中の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」のなかで、事後保全から予防保全へ転換することを定めており、この方針に基づき、平成30年度予算策定に当たり施設ごとの今後5年間の修繕計画の更新を行った 	達成	今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設個別施設計画の策定 今後の施設のあり方について部局横断的に検討を行う 施設点検マニュアルを策定、各施設管理者による施設点検の実施、点検結果に基づき修繕計画の見直し、予算編成への反映 日常点検等の実施 	内部評価	施設の統廃合を含めた再配置を検討していくことは、喫緊の課題となっており、内容や最終目標、スケジュールを迅速かつ具体的に示しながら進めていただきたい。																																															
								3. 公共施設等の適切な維持管理と利活用の徹底 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき日常的な点検等を実施、また、技術統括室による施設点検を実施 	達成	達成																																												
											4. 公用車のさらなる集中管理化 <ul style="list-style-type: none"> 各課の車両の稼働状況を把握し、集中管理車両への転換が可能かどうかの調査を実施、1台を集中管理車に転換 	達成	達成																																									
														5. 公用車へのエコカーの導入の推進 <ul style="list-style-type: none"> エコカー2台を更新 	達成	達成																																						
																	6. 指定管理者制度等の導入の推進 <ul style="list-style-type: none"> 恐竜博物館前に平成30年3月完成の勝山市ジオスターミナルの指定管理者選定に向けて調整を行った 	達成	達成																																			
																				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策指標</th> <th>改定時値</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">公用車の中に占めるエコカーの台数</td> <td>H27</td> <td>7台</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>9台</td> <td>7台</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7台</td> <td>7台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7台</td> <td>8台</td> <td>8台</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8台</td> <td>8台</td> <td>8台</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>8台</td> <td>8台</td> <td>9台</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>9台</td> <td>9台</td> <td>9台</td> <td>9台</td> </tr> </tbody> </table>		施策指標		改定時値	目標値	実績	公用車の中に占めるエコカーの台数	H27	7台	目標	実績	H32	9台	7台	7台	H28	7台	7台			H29	7台	8台	8台	9台	H30	8台	8台	8台	9台	H31	8台	8台	9台
施策指標		改定時値	目標値	実績																																																		
公用車の中に占めるエコカーの台数	H27	7台	目標	実績																																																		
	H32	9台	7台	7台																																																		
H28	7台	7台																																																				
H29	7台	8台	8台	9台																																																		
H30	8台	8台	8台	9台																																																		
H31	8台	8台	9台	9台																																																		
H32	9台	9台	9台	9台																																																		

政策の大項目 政策の中項目 政策の小項目 (施策)	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり		2. 効率的、効果的な行財政の運営		評価基準		総合行政 審議会 外部評価	
	内部評価				内部評価			
	平成29年度の取組結果				項目評価	今後の方針		
5. 行政組織の効率的運用	<p>1. 人事評価制度の推進</p> <p>2. 組織目標管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度検討委員会を開催し、開示方法等について改善を図った 評価能力向上のため評価者研修(44人)及び、次期管理職育成のためプレーイングマネージャー研修(108人)を実施 引き続き政策基本目標管理と人事評価制度の組織取組目標、職員取組目標をリンクし政策を推進 <p>3. 効率的な組織の再編</p> <p>4. 相互協力体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の福井しあわせ元気国体及び、平成30年度末で9人の部課長が定年退職となることを踏まえ、組織の再編は行わなかった 副市長を危機管理監、総務部長、建設部長を危機管理補佐監とし、災害時の指揮命令系統を迅速かつ的確に行えるようにした 市民・環境課を市民・環境課に名称変更し、環境部門の配置を分かりやすくした <p>5. 職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部の主要な政策等を知る機会として、時間外に相互研修を行う“御力(ごじから)ゼミ”を5回実施(245人参加) 職員の能力向上とモチベーションを高めるため、研修派遣を実施(市町村アカデミー11人、福井県自治研修所60人、自衛隊生活体験研修4人、ヤル気職員支援事業6人、行政経営戦略研修1人、異業種交流研修1人) 公会計制度改革に対応するため、公会計研修(45人参加)、簿記勉強会(43人参加)、関西学院大学 石原教授による公会計研修(32人参加)、日商簿記3級新規合格者15人、簿記資格保有率12.4%となった(当初8%) 自主的な研修として、実務的な事例を研究しコンプライアンス向上を図るため、地方自治法勉強会を実施(21人参加) <p>6. メンタルヘルスケア制度の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> メンタル面の長期病休者は4人(H24年9人、H25年3人、H26年3人、H27年度4人、H28年度4人) 長期病休者には、慣らし勤務を実施し、総務課との定期的な面談を実施 福井県立大学と連携し、心の健康相談室を5回(11人利用)、メンタルヘルス研修を2回実施 ストレスチェックを全職員対象に実施し、産業界による個別指導を実施 ハラスメント相談員を職員7人に委嘱し、2人に専門研修を受講させた(5人は受講済み) 				達成	<ul style="list-style-type: none"> 評価者研修の実施 人事評価制度検討委員会の開催、より良い評価制度へ改善するため引き続き議論する 	<p>①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来</p>	<p>SNSの普及等により各ハラスメントに係る問題は組織全体に大きなダメージを及ぼすことも多くなってきていることから、その問題性をしっかりと認識する研修の機会を十分に設けていた。いただきたい。</p>
	<p>達成</p>				<ul style="list-style-type: none"> 組織のスリム化を目指し、国体終了、部課長の大量退職に合わせて早期に再編案の検討 国・県等の派遣職員、正職員、再任用職員、嘱託・臨時職員を含めたトータル的な職員配置について、関係機関と協議・検討 	未達成 (数値目標)		
	<p>達成</p>				<ul style="list-style-type: none"> ヤル気職員研修、アカデミー、自治大学校等の派遣研修に加え、公会計研修、地方自治法勉強会を引き続き実施し、技師等も含めた資格取得の奨励を行い、職員の能力向上、レベルアップを図る 	未達成 (数値目標)		
	<p>達成</p>				<ul style="list-style-type: none"> 県立大学の心の健康相談室、メンタルヘルス研修、ストレスチェック、個別指導等を引き続き実施 長期病休者には、慣らし勤務、定期面談を行いつつ、主治医及び産業界の意見を聞き、適切に復帰支援を行う 	未達成 (数値目標)		

5. 行政組織の効率的運用	総務課	7. 障がい者雇用の促進				達成	<ul style="list-style-type: none"> 法定障害者雇用率は障害者雇用促進法の改正によりH30年4月から2.6%に引き上げられる 障害のある職員が退職することを踏まえ、今後の採用の検討 	未達成 (数値目標)					
		<ul style="list-style-type: none"> 雇用している障害者数は7人、障害者雇用率は2.73%で、障害者の雇用の促進に関する法律施行令の定める法定雇用率2.3%を上回っている H28年4月1日に障害者差別解消法が施行されたことに伴い、職員対応要領を作成、職員説明会を実施 											
		施策指標		改定時値	目標値	H28			H29	H30	H31	H32	数値評価
		メンタルヘルス研修の職員受講率		H27	H32	44%			48%	52%	56%	60%	達成
				41.8%	60.0%	実績			53.8%				
		施策指標		改定時値	目標値	H28			H29	H30	H31	H32	数値評価
		勝山市役所における障がい者雇用率		H27	H32	—			2.7%	2.8%	2.8%	2.8%	達成
		※法定雇用率2.3%		2.7%	2.8%	実績			2.7%				
		施策指標		改定時値	目標値	H28			H29	H30	H31	H32	数値評価
		市民・環境課窓口業務に関する市民満足度		H27	H32	80%			82%	84%	86%	88%	未達成
		79.7%	88.0%	実績	82.2%								
		市民・環境課窓口に満足している市民の割合は、前年度より1.5ポイント向上している。				実施せず							

政策の大項目	政策の中項目	政策の小項目 (施策)	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり						総合行政 審議会 外部評価		
			2. 効率的、効果的な財政の運営								
			内部評価								
			平成29年度の取組結果								
6. 広域行政の推進	未来創造課	市民・環境課	1. 大野・勝山地区広域行政事務組合が行う各種事業への参画						①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来 ①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	内部評価	
			<ul style="list-style-type: none"> 中部縦貫自動車道の早期全面開通等の、奥越地域の重要要望をまとめ、近畿地方整備局や県への要望活動を実施 奥越の補導発刊(青少年健全育成事業)に関して、人口・児童数・生徒数等調査の回答に協力 								
			<ul style="list-style-type: none"> 大野・勝山地区広域行政事務組合が、大野市・勝山市の担当者会議を開催し、ごみ減量への取組みに關しての協議を実施 奥越圏域全体のごみ排出量削減 大野・勝山広域行政事務組合が、大野市・勝山市の担当者会議を開催し、ごみ減量への取組みに關しての協議を実施 勝山・永平寺衛生管理組合によるし尿処理業務の円滑な運営に向けた整備 衛生センター改修経費比較検討資料を作成し、衛生センター方向性検討会議において、今後の施設修繕およびMICS事業の可否についての協議を行った MICS事業に係る課題を整理し、泉河川課との事前協議を実施 								
			達成	<ul style="list-style-type: none"> 大野・勝山地区広域行政事務組合と連携をとり、広域的に諸課題についての検討を行っていく ごみの減量に係る各種取組みや課題の整理について、広域事務組合、大野市と継続審議する 衛生センター方向性検討会議を開催し、今後の方向性を決定する 						達成	評価について妥当と認める。

政策の大項目	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり		評価基準		総合行政 審議会 外部評価										
	政策の中項目	3. 多様な交流活動の推進	内部評価												
			項目評価	今後の方針											
政策の小項目 (施策)	平成29年度の取組結果		内部評価		内部評価										
1. 恐竜を活かしたまちづくり 推進(恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの 推進)	1. ジオサイト等の地域の遺産を活かした教育の普及とジオツアーリズム活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学生を対象にジオパーク学習を実施(35回、1,045名) 市外からのジオパークに関する視察や取材を兼ねたジオツアーの受入(10回、360名) 	達成	<ul style="list-style-type: none"> ①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来 	他市で伝統 の保存が行 われている ように、東 山や五所ヶ 原といった 地域の焼畑 のような伝 統的な活動 について は、保全に 努めていた だきたい。										
	2. 市民に対するジオパークのわかりやすい周知	<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象としたジオパーク学習や研修会を実施(20回、492名) 「ジオパークフェスタ」を初めて開催(3/24実施、120名) 市民向けのジオパーク学習として、各種団体の総会や集会等の積極的に講座を実施 小中学校を対象としたジオパーク学習は、小学校での実施が主であったが、中学校からの要望にも対応 	達成	<ul style="list-style-type: none"> 市外からの視察や取材には市職員が対応しているのが現状であるが、今後はジオガイドが対応できるようにガイドの養成を図っていく。 まちづくり団体や市民団体と協働した各種ジオツアーや、各団体の総会や集会、小中学校でのジオパーク学習や研修会の実施を行い、広くジオパークへの理解と周知を図る 「ジオパークフェスタ」を再度開催 		達成									
	3. ジオサイト等の遺産の保全・保護・整備とその活用	<ul style="list-style-type: none"> 恐竜渓谷ルートの整備・活用 	達成	<ul style="list-style-type: none"> ジオサイトの保護・保全の引き続き実施していく 他、学術研究等奨励助成金についても引き続き行っていく 											
	4. 恐竜渓谷ルートの整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> ジオサイト等の調査を行うほか、池ヶ原湿原等の保全活動への参加協力、露頭等のバトロールおよび清掃、草刈りなど、遺産の保全、保護、整備を推進 学術研究等奨励助成金を実施し、勝山市内での学術調査及び研究を支援(2件) 恐竜渓谷ルートの整備として、北谷町杉山地区の地元団体によるネムノキ保護作業を実施(委託事業) 	達成	<ul style="list-style-type: none"> 各種シンポジウムや研修会に参加・協力し、北陸をはじめとした全国のジオパークとの連携を強めていく 											
	5. 国内外にある他のジオパーク地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 北陸のジオパークとの連携、シンポジウム等(参加、協力、発表) 日本ジオパーク全国大会等に参加(H29.10秋田県男鹿市 男鹿半島・大潟ジオパーク) 中部のジオパークブロック大会に参加(H29.11南アルプスジオパーク) 日本のジオパークネットワーク会議等に参加(H30.2第11回全国研修会他) 中国のジオパークとのワーキングセッションに参加(H29.4糸魚川ジオパーク) 香港ジオパーク代表の視察受け入れ(H29.8) 	達成	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値評価</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,700人</td> <td>3,000人</td> </tr> <tr> <td>2,858人</td> <td>4,000人</td> </tr> </tbody> </table>			数値評価		H29	H30	2,700人	3,000人	2,858人	4,000人	
数値評価															
H29	H30														
2,700人	3,000人														
2,858人	4,000人														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策指標</th> </tr> <tr> <th>改定時値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 2,134人</td> <td>H32 4,000人</td> </tr> </tbody> </table>		施策指標		改定時値	目標値	H27 2,134人	H32 4,000人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">行政、民間主催のジオツアーへの参加者数 (平成23年度からの累計)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,400人</td> <td>2,453人</td> </tr> </tbody> </table>	行政、民間主催のジオツアーへの参加者数 (平成23年度からの累計)		目標	実績	2,400人	2,453人	達成
施策指標															
改定時値	目標値														
H27 2,134人	H32 4,000人														
行政、民間主催のジオツアーへの参加者数 (平成23年度からの累計)															
目標	実績														
2,400人	2,453人														

政策の大項目	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり	評価基準	総合行政審議会外部評価
政策の中項目	3. 多様な交流活動の推進	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	
政策の小項目(施策)	平成29年度の取組結果	内部評価	内部評価
	1. 市民や市民団体による英語圏の国との交流事業の実施 ・ハワイ青少年交流事業の実施(派遣期間:3/24~3/29 参加者:13人 ワークショップ:8回) ・ハワイのモアナルアライオンズクラブ及び勝山ライオンズクラブの協力を得て実施した。 2. 国際交流員が企画・実施する、幅広い年齢層の市民や市内在住外国人を対象とした国際交流講座・イベントの充実 ・第10代勝山市民国際交流員ノエミ・ヨシダ氏がH29.7月末で退任。引き続き、第11代勝山市民国際交流員トルシベン・パテル氏がH29.8月就任。 ・国際交流サロンの開催(7/9・ハワイピクニックBBQ:50人 10/14・ハロウィンパティー:40人) ・英会話教室(36回実施 397人)や日本語学習広場(22回実施 157人) ・外国人のための行政書士相談 年5回 ・小学校及び幼稚園訪問やさわやか大学及び勝山市民総合大学の講師 ・中国の交流推進に関する講座(3回 42人) 3. 中国との交流推進 ・勝山市民日中友好協会と連携し、中国との交流推進に関する講座を開催し、子どもから大人まで中国文化に触れることができた。 ・9/30荒土公民館学級「日中友好家庭料理教室」14人 地元野菜を使った水餃子づくり、中国に関する学習会 ・11/11勝山公民館と共催「家庭でできる菓膳粥と中国茶」13人 ・2/4中国春節イベント「太極拳と水餃子づくり」15人 ・勝山市民総合大学にて「中国語入門講座」を開催(16回実施 67人)	今後の方針	項目評価
2. 国際交流の推進	生涯学習課	達成	達成
	国際交流事業への参加者数	達成	達成
	実施指標	H27 152人 H28 124人 H29 130人以上 H30 140人以上 H31 150人以上 H32 160人以上	数値評価
	改定時値	H27 152人 H28 124人 H29 145人	達成

政策の大項目	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり	評価基準	総合行政審議会外部評価
政策の中項目	3. 多様な交流活動の推進	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	
政策の小項目(施策)	平成29年度の取組結果	内部評価	内部評価
	1. 国内および県内自治体との多様な都市間交流の推進 ・金沢市との交流 百万石まつりへの招待(観光政策課) 子ども交流会(生涯学習課) 9/24~9/25 金沢市にて(金沢市児童8名、勝山市民児童19名) ・小浜市との交流(生涯学習課) 7/21~7/22 小浜市にて(小浜市児童13名、勝山市民児童15名) 2/18~2/19 勝山市にて(小浜市児童13名、勝山市民児童15名) 2/24 左義長まつりに招待は大雪により中止 都市間交流事業および活動等への参加市民の数	今後の方針	項目評価
3. 都市間の交流の推進(国内)	生涯学習課	達成	達成
	実施指標	H27 44人 H28 52人 H29 55人以上 H30 60人以上 H31 65人以上 H32 70人以上	数値評価
	改定時値	H27 44人 H28 52人 H29 83人	達成

政策の大項目	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり				評価基準				総合行政 審議会 外部評価		
	政策の中項目	3. 多様な交流活動の推進			内部評価						
		項目評価	今後の方針			内部評価					
政策の小項目 (施策)	平成29年度の取組結果										
4. ふれあい市民との交流	1. 情報発信(市情報誌の送付)等を通じたふれあい市民との継続的な交流の維持	達成	情報発信に努めたものの、ふれあい市民登録者数そのものが微減。各勝山会や勝高同窓会等と連携し、勝山に愛着を持ち、勝山を応援してくださるふれあい市民の増加を図る必要がある。			情報発信に努めたものの、ふれあい市民登録者数そのものが微減。各勝山会や勝高同窓会等と連携し、勝山に愛着を持ち、勝山を応援してくださるふれあい市民の増加を図る必要がある。				アプリやHPの充実、写真の多用など、若い世代が入りやすい媒体を活用したPRを行っていただきたい。 都市部では、リゾートバリエイターが流行しており、そういった若者との接点を作り、1ターンにつなげていただきたい。	
	2. ふれあい市民への登録に向けた勧誘強化	達成	・奥越管内の高校を卒業する生徒や成人式に参加される方に、ふれあい市民登録を呼びかけ			・市広報及びふるさとメルネッサンスだより並びに勝高同窓会会報の送付に合わせた勝山市の情報発信					
	3. かつやま大使との継続的な交流や大使やふるさとかつやまインフォメーションを通じた勝山市のPR推進	達成	・君原健二さん、恐竜クロカンマラソンゲストランナー ・椎名誠さん：左義長まつり川柳コンクールの中で椎名誠賞に選出された作品を、絵行燈にして出展 ・サウルコス福井：5/21かつやまTHANKSDAY開催、保育園・幼稚園でのサッカー教室開催			・ふるさと納税者、高校卒業生、転出者等に対する、ふれあい市民登録の呼びかけ ・かつやま大使それぞれの分野での協力を依頼する ・関西勝高同窓会、東京勝山会、関西勝山会に出席し、ふるさと納税や移住促進施策への協力を依頼 ・ふるさとメルネッサンスだよりへの記事投稿を依頼 ・勝高同窓会と連携した、市の施策の情報発信					
	4. 東京勝山会、関西勝山会 等への情報提供や市施策等への協力依頼	達成	・関西勝高会5/14、東京勝山会10/15、関西勝山会11/5に出席し、勝山市のPRとふるさと納税等への協力を依頼			未達成 (数値目標)					
施策指標		改定時値	目標値	H28		H29		H30	H31	H32	数値評価
ふれあい市民の登録者数		H27 1,617人	H32 1,670人	目標	1,590人	実績	1,590人	1,630人	1,650人	1,670人	未達成

政策の大項目 政策の中項目 政策の小項目 (施策)	1. すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり		3. 多様な交流活動の推進		評価基準		総合行政 審議会 外部評価		
	内部評価				内部評価				
	平成29年度の取組結果				今後の方針				
5. U・Iターンの推進	ふるさと創生・移住課	1. 勝山市出身の若者やアクティブシニア等へのふるさと回帰の働きかけ(きめ細かな情報提供・強化)	達成	達成	①達成 ②未達成 ③一部未達成 ④判断時期未到来	<p>仕事上の理由ではなく、情熱をもって移住してくれる人を獲得するため、関東や関西エリアにジョブパークとしての魅力も含めたPRの強化を行ってほしい。</p> <p>都会の人が田舎暮らしを満喫できるように、家庭菜園のある住宅を希望する場所に、宅地に付随している土地の地目が農地の取得ができれば、なかなか対策を検討していただきたい。</p>			
		2. 地方創生の流れの中で国の機関や県等と連携した事業の展開	達成	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・市窓口での相談件数及び市の支援を受けて移住した人は急増した。Uターン・IターンではPR方法や支援の方法も異なるが、市の魅力を効果的にPRしていく必要がある ・勝山市に愛着と誇りと自信を持った児童生徒を育てること、また、一度都会に出た若者のUターン促進にターゲットを絞った事業展開を図る ・地方創生推進交付金を活用した、ふるさと勝山帰郷事業の展開 ・首都圏のフェア等で市内企業のPR 1. 中高生等に訴求する企業紹介冊子の作成 2. 市内企業の情報を集めたポータルサイトによる訴求 3. 企業見学・企業体験プログラムとリンクした情報発信の試行 ・成人式や高校卒業式において、U・Iターンやふるさと回帰へのPR等を行う ・ふるさと市民や勝高同窓会に向けた情報提供 ・移住希望者のミスマッチを防ぐため積極的なお話し移住体験施設の活用を促進する ・企業体験プログラムを活用した市外からの就職希望者と市内企業とのスムーズなマッチングの試行 ・利用者のニーズに基づいた勝山市の紹介・案内の試行 ・Uターン奨励金の新設によるUターン者へのインセンティブの発信 ・民間賃貸住宅助成事業を活用した、市内企業の雇用者の負担軽減 				
		3. 市内企業等への定住情報提供による市外からの就職希望者へのPR	達成	達成	未達成				
		4. 市内小中学生やその保護者への地元企業のPRによる市内への就職促進	達成	達成	達成				
		5. お話し移住体験施設の設定	達成	達成	達成				
		6. 移住定住のインセンティブとなる、新たな補助制度等の検討	達成	達成	達成				
市の支援を受けて転入した人の数(平成27年度からの累計)		改定時値	目標値	H28	H29	H30	H31	H32	数値評価
		H27	H32	4人	12人	16人	20人	24人	達成
		3人	24人	10人	61人				

